

令和7年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果〔小学校〕

令和7年9月 能美市教育委員会

1 実施校・学年 市内8学校 第6学年

2 実施日 令和7年4月17日（木）

3 実施内容 （文部科学省HPより引用）

（1）教科に関する調査 国語、算数、理科

＜出題範囲＞

調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

＜出題内容＞

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。

（2）児童質問調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等

ICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施する。

4 注意事項

調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。

5 調査結果

（1）教科に関する調査の状況

【国語】

＜成果＞

- ・話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができます。
- ・自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができます。

＜課題＞

- ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題があります。
- ・目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることに課題があります。

【算数】

＜成果＞

- ・台形の意味や性質についての理解ができています。
- ・異分母の分数の加法について計算することができます。

＜課題＞

- ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることに課題があります。
- ・はかりの目盛りを読むことに課題があります。

【理科】

＜成果＞

- ・水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶことができます。

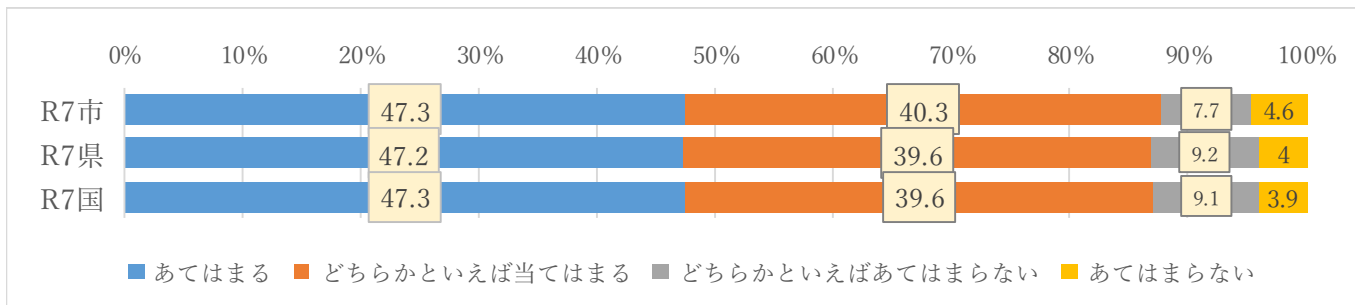
＜課題＞

- ・水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することに課題があります。

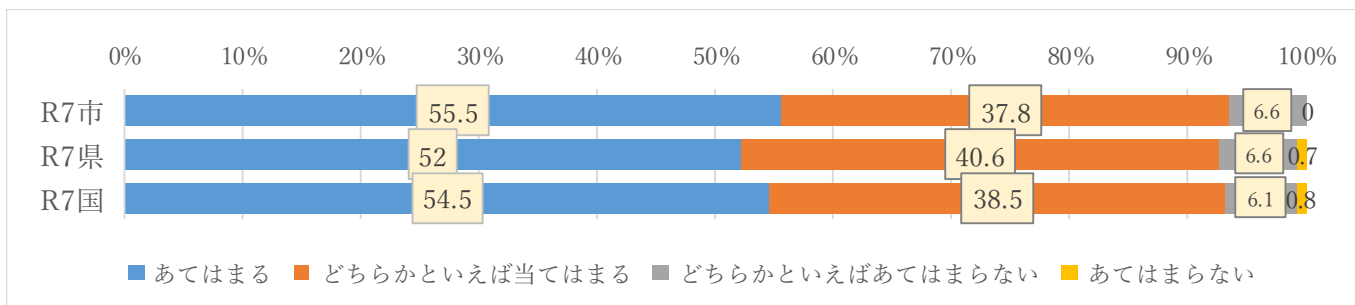
（２）児童の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の小学校６年生の姿

① 自分を肯定的にとらえている児童、幸せな気持ちで生活を送っている児童が約９割います。

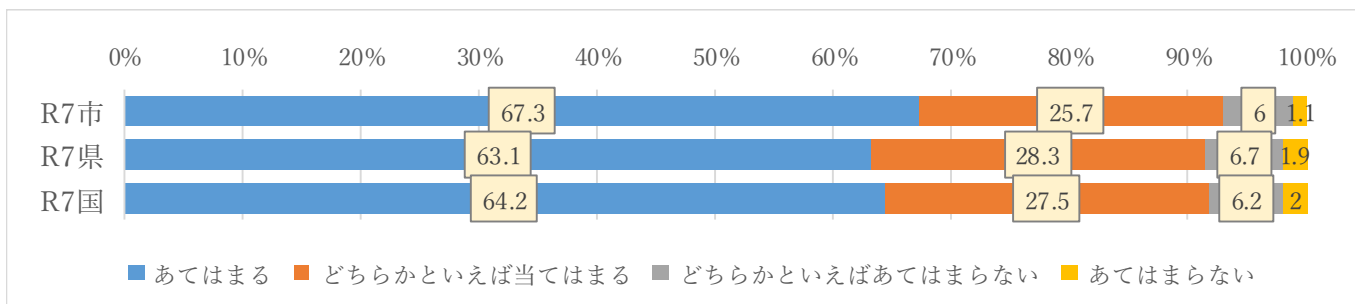
<自分には、よいところがあると思いますか>



<普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか>



<友達関係に満足していますか>

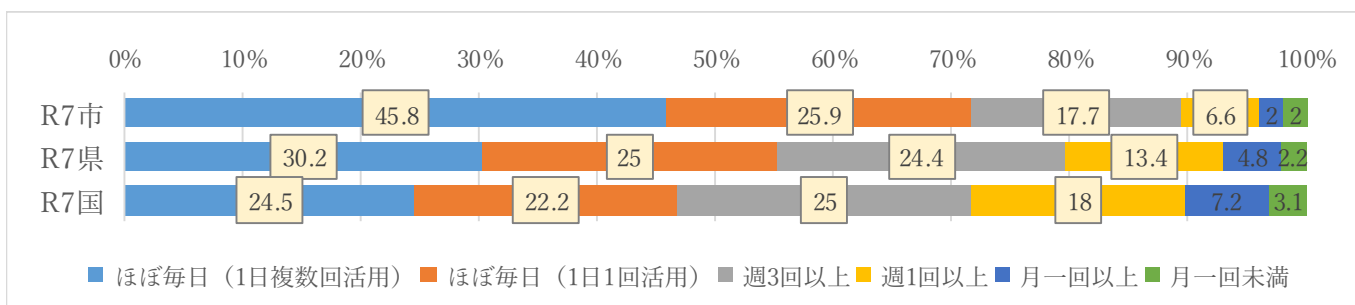


【質問調査で「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」など肯定的に回答している児童の割合】

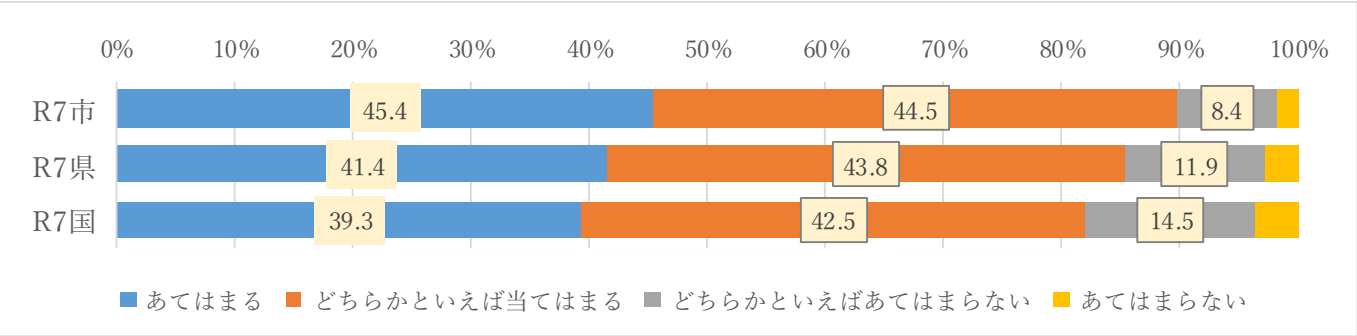
- ・人が困っているときは、進んで助けますか（市 95.8%）
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（市 95.8%）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか（市 97.5%）

② １人１台端末など ICT 機器を活用した授業の充実により、学びを深めている児童が多くいます。

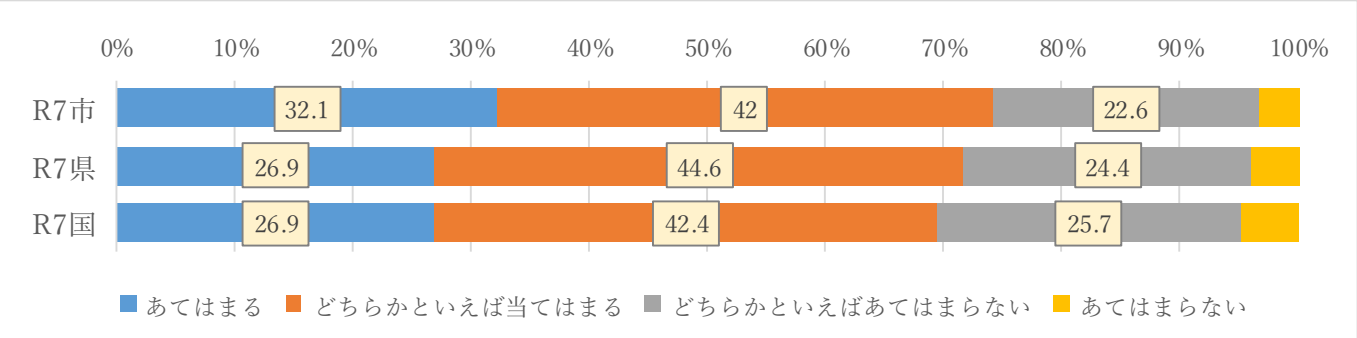
<ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器をどの程度使用しましたか>



＜あなたは自分がPC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができますか＞



＜あなたは自分がPC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができますか＞

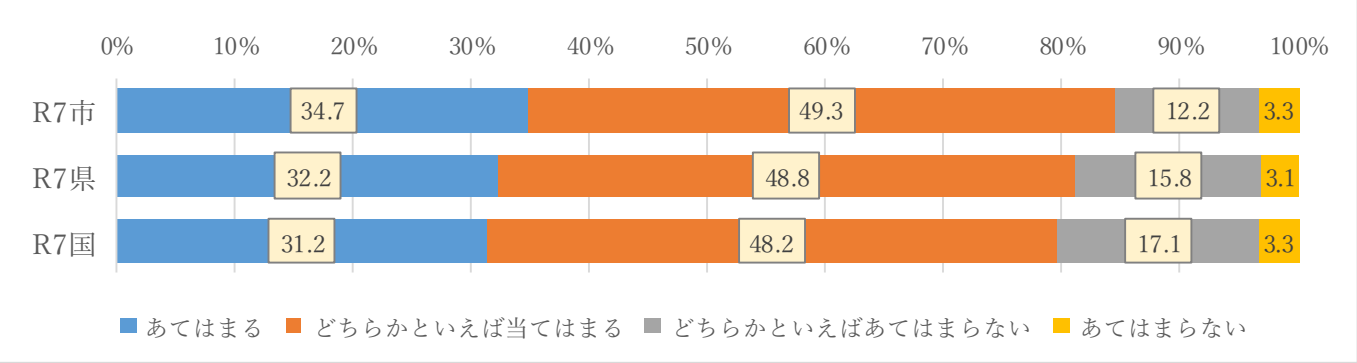


【PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか】
(肯定的回答の割合)

- ・友達と協力しながら学習を進めることができる (市 94.0%)
- ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる (市 92.5%)
- ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる (市 91.0%)

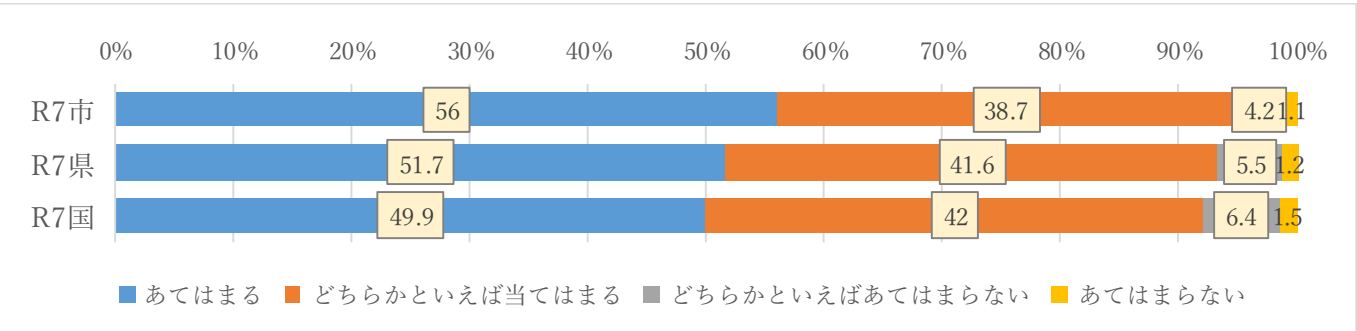
③学習した内容を身に付けようとしている児童が多数います。

＜学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか＞



④友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組む児童が多数います。

＜授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか＞



(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各校において、これまで児童の学力や学習状況を把握し、学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。これまで行ってきた以下の取組を今後も継続して、地道に実践を重ねていくことで、能美市の児童の力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

能美市教育委員会と学校が進めていくこと

■ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査の内容は、これからの児童に必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧に分析することで、学校全体で授業改善に取り組み学力向上を目指します。

■ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

- ・授業の目標を児童と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業
- ・各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業
- ・自分の考えを持ち、児童同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業
- ・思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業
- ・視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業
- ・1人1台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが一体となって実現する授業

■ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切にし、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。児童が、安心して過ごせる学級・学校を目指していきます。また、デジタルの力でリアルな学びを支援するためのデジタル学習基盤を引き続き整えていきます。

家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

■ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんとすることは、子供たちが学校生活を生き生きと過ごす基盤となります。規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

■ 節度あるメディアの使い方

メディアは本来、正しく利活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れてしまいがちです。テレビやゲームの時間や携帯電話やスマートフォンなどの使用と合わせて、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合っ規則を決めましょう。

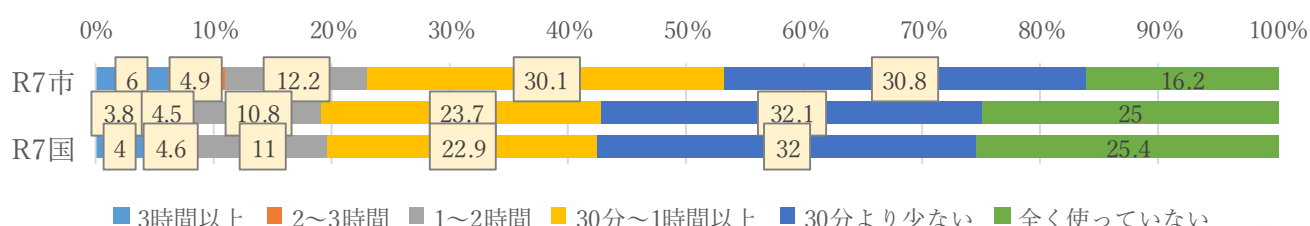
■ 家庭学習の確立

学校の宿題の他に、教科書を使った授業の予習やノートの振り返り、AIドリルを使って復習することで、自分自身のつまずきに気づき、理解度に応じた問題に取り組むことができます。その時授業で学んでいる内容だけでなく、苦手な教科や単元、習ってから時間が経ってしまった内容など、基礎基本の確実な定着に効果的です。

⇒ 学校で学習した内容を確実に定着させるには、家庭学習を充実させることが大切です。

能美市立小学校では基本的に、1日の家庭学習の目標時間を「10分×学年」以上に設定しています。6年生は「10分×6＝60分」。1時間以上が目標時間です。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



テレビやゲーム、スマートフォンの適切な使い方について、家庭でルールをつくり、予習や復習などの家庭学習を充実させましょう！